



どうなっているの？

令和2年度

旭川市の決算状況

決算は、4月から翌年3月までの1年間にどのような収入があり、何にどれだけお金を使ったのかという結果です。令和2年度の決算と財政の状況についてお知らせします。【詳細】財政課 25・5672



新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策の支出額は430億9,675万4千円

- 医療・保健対策**…20億2,580万7千円 PCR検査や発熱外来診療の実施、市立旭川病院による医療提供体制の整備など
- 市民生活対策**…18億987万2千円 小・中学校における1人1台のタブレット端末の導入やトイレの洋式化、寿バスカード利用時の乗車料金無償化など
- 経済対策**…392億6,107万5千円 1人10万円の特別定額給付金や出産特別祝金の支給、中小企業への融資枠拡充、休業等事業者への支援金の交付、プレミアム付商品券の発行など



一般会計
道路や公園の整備、福祉事業、市民活動の支援、ごみ処理など市の仕事を行うための基本的な経費についての会計です

収入 2,016億6,285万2千円 (前年度比 422億224万2千円増)

- 国庫支出金** ……763億8,731万7千円 (37.9%)
個別の事業ごとに、国から交付されるお金
- 市民1人当たりの市税収入は12万1千円** ☆
- 市税** ……398億2,786万5千円 (19.8%)
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- 地方交付税** ……316億5,908万8千円 (15.7%)
市の財政力に応じて、国から交付されるお金
- 市債** ……151億5,353万9千円 (7.5%)
公共施設の建設時などに借入るお金
- 諸収入** ……99億756万円 (4.9%)
市が貸したお金の返済金など
- その他** ……287億2,748万3千円 (14.2%)
道からの補助金、施設の使用料など

支出 1,991億1,608万5千円 (前年度比 409億4,957万9千円増)

市民1人当たりの支出額は60万4千円 ☆

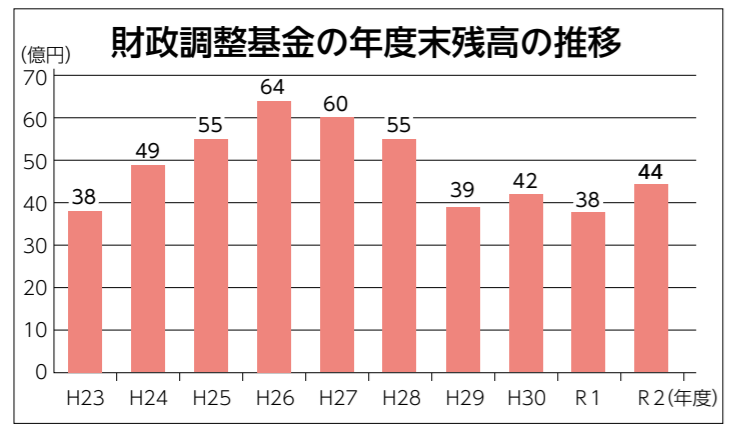
- 民生費** ……1,058億6,763万円 (53.2%)
生活保護や高齢者・障害福祉等の各種福祉事業、子育て支援など
- 職員費** ……173億5,637万円 (8.7%)
市職員の給料、退職手当など
- 公債費** ……172億2,852万1千円 (8.6%)
市が借入たお金の返済金
- 土木費** ……166億6,119万2千円 (8.4%)
道路・公園の整備、除排雪など
- 教育費** ……123億8,551万6千円 (6.2%)
学校の整備、図書館の運営など
- 商工・農林水産業費** ……102億7,641万7千円 (5.1%)
商工業・農林業の活性化など
- 衛生費** ……98億7,964万4千円 (5.0%)
保健所の運営、ごみ収集・処理など
- その他** ……94億6,079万5千円 (4.8%)
総務費、議会費、消防費など

☆今年4月1日現在の人口329,822人で計算。

収入と支出の差引額 25億4,676万7千円…①
このうち、令和3年度に繰り越した事業に使う額 1億5,929万2千円…②
①から②を差し引く
実質的な収支額 23億8,747万5千円…③

市の貯金の状況は？

財政調整基金は、予期せぬ減収や災害などの不時の支出に備えるための市の貯金です。令和2年度は取り崩さなかったため、年度末残高は前年度より増加して44億円になりました。
※条例に基づき、③の半分(12億円)を積み立てたため、同3年6月時点の残高は56億円です。



特別会計

市民の皆さんが納めた保険料等によって事業を運営するなど、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計とは別に設けている会計です

会計名	収入	支出	収入支出差引額
国民健康保険事業	351億6,531万8千円	346億4,071万6千円	5億2,460万2千円
動物園事業	15億2,945万2千円	15億2,945万2千円	0円
公共駐車場事業	6,083万8千円	6,083万8千円	0円
育英事業	2億6,617万3千円	2億5,726万円	891万3千円
介護保険事業	362億2,651万9千円	353億2,454万4千円	9億197万5千円
母子福祉資金等貸付事業	2億8,365万3千円	6,048万9千円	2億2,316万4千円
後期高齢者医療事業	54億2,215万9千円	54億1,895万3千円	320万6千円
合計	789億5,411万2千円	772億9,225万2千円	16億6,186万円

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、民間企業のように利用者からの利用料などによって事業を行う会計です

会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額
水道事業	収益的	61億3,865万2千円	53億4,859万8千円	7億9,005万4千円
	資本的	21億9,453万円	59億1,542万3千円	△37億2,089万3千円
下水道事業	収益的	91億7,990万3千円	86億9,649万7千円	4億8,340万6千円
	資本的	31億3,052万3千円	64億5,917万7千円	△33億2,865万4千円
病院事業	収益的	129億1,917万2千円	115億2,626万円	13億9,291万2千円
	資本的	14億1,629万2千円	17億6,198万8千円	△3億4,569万6千円

※収益的収入・支出＝水道料金、下水道使用料、病院診療報酬などの収入と、人件費や維持管理費、減価償却費、借入金の利子など事業の運営に必要な支出です。
 ※資本的収入・支出＝施設や設備の建設改良などの支出と、その財源となる企業債などの収入です。
 ※△は不足額。資本的収支の不足額は内部留保資金で補填しており、病院事業会計はこれに加えて一時借入金で措置しています。

市の借金の状況は？

市債とは、市が公共事業などを実施するための借金のことです。市債には、資金を調達する他に、世代間の負担を公平にする役割もあります。
市債残高は、建設事業等債の借入れを抑えてきたことで、全体では減少傾向です。
なお、令和2年度は、特例措置で特別減収対策債等を13億円借りました。

市債の年度末残高の推移(一般会計)

